

平成 18 年 12 月 15 日

各 位

会社名 株式会社ジー・エフ
代表者名 代表取締役社長 仲吉 昭治
(コード番号 3751 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役広報室長 岡田博之
(TEL. 03 - 5978 - 2261)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 9 月 15 日に公表した平成 18 年 10 月期（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,500	22	7
今回修正予想(B)	2,387	1	△110
増減額(B-A)	△113	△21	△117
増減率(%)	△4.6	△95.5	—
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 10 月期)	2,547	306	179

2. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,500	22	7
今回修正予想(B)	2,387	1	△110
増減額(B-A)	△113	△21	△117
増減率(%)	△4.6	△95.5	—
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 10 月期)	2,547	306	179

3. 修正の理由

当社では、当第3四半期において業績低下の要因となっておりました、当期採用した営業員の人材育成と、販売効率向上のための業種別・用途別パッケージ商品のリリースが予想より遅延したことにより、連結・個別ともに売上高が平成18年9月15日公表の予想を下回り、経常利益において前回公表いたしました22百万円に対して1百万円となりました。また、出資先であるエニューザー株式会社の直近の財政状況から判断して、96百万円の投資有価証券の評価損を計上することといたしました結果、当期純利益において前回公表の7百万円に対して当期純損失110百万円となりましたので、お知らせいたします。

なお、平成19年10月期の業績見通しにつきましては、本日公表いたしました平成18年10月期決算短信に記載のとおり、上述の経営課題の改善をはかるため中間期までは厳しい状況が続くものと予想されますが、市場環境は当社の事業拡大が十分可能状況と判断しており、通期の売上高は2,800百万円（連結売上高2,980百万円）、経常利益190百万円（連結経常利益200百万円）、当期純利益112百万円（連結当期純利益106百万円）を計画しております。

以 上